

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年12月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675400073
法人名	医療法人一桜会
事業所名	さくらのお家
所在地	始良市蒲生町上久徳2511-2 (電話) 0995-52-8129
自己評価作成日	令和4年11月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	-----------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年12月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

さくらのお家は、伝統的な街並みの中の、静かで過ごしやすい場所にあります。利用者お一人おひとりの生活パターンを大切にしながら過ごして頂いています。また四季を感じて頂けるよう管理栄養士の立てた献立をもとに食事の提供、花見・節分・母の日会・敬老会・クリスマス会などの行事を行っています。医療面では母体のクリニックと連携し、体調の変化や緊急時の対応も可能な体制を整えています。地域との交流にも力を入れており、火災などへの協力体制も作り上げています。地域行事への参加だけでなく事業所の行事にも参加いただいたりしていますが今年度は新型コロナウイルス流行の為中止となっています。自治会に加入し、地域の清掃活動等にも積極的に参加し、地域の一員として認知していただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、日本一の大楠や武家屋敷群のある始良市蒲生町の中心部に位置し、近くに始良市役所支所・学校・母体クリニックをはじめ他の医療機関・薬局などの商店や住宅等が立ち並ぶ利便性の良い環境にある。利用者の全員が母体クリニックを主治医としており、月2回の訪問診療や看護師による毎週の健康管理のための訪問、リハビリ通院等、24時間いつでも医療と繋がることのできる連携体制が構築されている。

暖かい家庭的な環境の中で、利用者の能力を活かしつつ住み慣れた町で文化的な生活を支援するという理念を掲げ、職員は理念に沿った年間目標を立て、管理者と共に日々のケアを振り返りながら実践に繋げている。コロナ禍において地域との繋がりが縮小されてきている中で、地域の清掃活動への参加や近隣散歩時の地域の人々との会話、野菜の差し入れ等を通して、できる限り利用者の意向に添ってこれまでの関係性を維持できるような支援に取り組んでいる。

法人には事故対策・苦情相談・身体拘束・感染予防対策・防災・環境保全等14の委員会組織があり、職員は所属している委員会において意見交換や情報共有しながら業務に従事している。管理者は日頃から職員が気軽に話せる雰囲気作りに努め、人事考課の面談を年2回実施するなど、職員の意見や提案・気づきなどを業務改善やサービスの質の向上に反映させて、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ミーティングや朝の申し送り時、日々のケアの中で理念に基づいたケアが実践できているかを常に話し合い、共有しながら取り組んでいる。	開設当初からの理念を法人理念と共に玄関に掲示して意識付けを図っている。管理者は人事考課の面談を年2回実施し、職員が立てた年間目標が理念に沿って達成されているかを確認して、日々のケアに生かせるように取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会へ加入し、地域の清掃や花見・運動会へ参加していたがコロナ禍ではできていない。また、事業所の行事（夕涼み会、防災訓練）参加していたがそれもコロナ禍ではできていない	自治会に加入し、回覧板等で地域の情報の把握に努めている。現在は新型コロナ禍にあり、清掃活動への参加や散歩時の地域の人との会話、野菜の差し入れ、近々開催される”かも市”での慰問の踊りを受ける等、地域との繋がりが縮小されてきている中で、これまでの関係性を維持できるように努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議（コロナ禍では文書にて）を通じて、認知症についての話や介護保険についての説明を行っている。問い合わせがあればいつでも対応できる体制を作っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度会議を開催していたがコロナ禍では開催できず文書で現状の報告行っている。年2回の家族会も同様に開催が出来ていないが毎月かもう便りを発送している。	通常は民生委員・地域住民・行政職員等の出席を得て、定期的を開催している。現在はコロナ禍のため書面でホームの近況報告を行い、メンバーや家族等から意見をもらったり検討・意見交換できる場は設けられていない。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の介護課と地域包括支援センターの職員が運営推進会議の委員として会議に参加していたがコロナ禍の為実施していない	市職員とはホームの運営や各種制度手続き、相談など電話・メール・窓口等で助言をもらい、日頃から協力関係を築いている。市主催の研修会等の案内はもらっているが、参加できていない。利用者の中に生活保護受給者がいるため、担当者の定期的な来訪を受けて連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	個別のケースごとに話し合いながら身体拘束のないケアに取り組んでいる。法人内に身体拘束対策検討委員会を設置している。	身体拘束等の適正化のための指針を整備し、適正化を目的とした委員会を毎月開催して、センサーマットの利用状況について報告している。法人内の身体拘束対策検討委員会を中心に年間計画の中で身体拘束に関する研修会を計画し、リモート研修後にレポートを提出して認識を深めている。不適切な言葉遣いはその都度注意し合って、ケアの向上に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入職時の基礎研修で虐待について学ぶ機会が確保されている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	新型コロナの為実施できていない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、又は入居前に重要事項説明書と契約書を家族に理解頂けるよう説明し同意を頂いている。改定等があった時は、改めて説明を行い同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者との日々のコミュニケーションの中で意見等言いやすい関係を深めており、ご家族とは毎月お手紙を出し、時には面談や電話など積極的に連絡を取るようになっている。</p>	<p>利用者の意見等は日常会話・家族からの情報・ケアの中から汲み取り、家族からの意見や要望は主に面会・電話等を通して把握するように努めている。利用者の様子は毎月の請求所と共にお便りを家族に郵送し、個人写真はラインで送付するなど、家族との良好な関係づくりに心がけている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>部署ミーティングや申し送り時に意見を出し合い必要な意見と提案を管理者が主任会等で上申している。又職員の質の向上を目指し年間目標を個々で設定している</p>	<p>管理者は日頃から職員が気軽に話せる雰囲気作りに努め、直接意見をもらうなど互いの信頼関係が構築されている。出された意見等はミーティングで話し合い、運営やサービスの改善に繋げている。スキルアップのための研修会への参加、希望休や勤務シフト作成等に職員の意向を反映させて、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>半期ごとに人事考課として責任者との面接、目標に向けての反省等、意見など確認し前向きに業務に取り組んでいる</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>専門研修の年間計画が立てられており、各自で実施している。新入職者には基礎研修、管理者には管理者研修を実施している。外部研修に関しては新型コロナの為オンライン研修を推奨している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現在新型コロナの影響で、交流会や親睦を図る事はできていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	話しやすい雰囲気作りを心掛け、本人の話しに耳を傾け、信頼関係構築に取り組んでいる。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	家族とのコミュニケーションを大事にし、話しやすい雰囲気作りを心がけ、関係づくりに努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	本人、家族からだけでなく、それまで関係のあった事業所などからも情報を集め、必要な支援を検討している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	ご本人が持っている知識、経験、技術などを尊重し、それらを十分発揮してもらえるような関わりを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族、親族の行事には昨年同様新型コロナの影響で参加される事ができていない。他科受診は基本的に家族にお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人の方等には新型コロナウイルス流行の為電話でお話をお願いしている。馴染みの美容室を継続して利用している。	入居時の聞き取りや日頃の利用者との会話、家族からの情報等で利用者毎の馴染みの人や場所を把握し、近隣の散歩・家族や友人との電話・手紙の取り次ぎ・母体クリニックへのリハビリや通院・1~2カ月毎の訪問美容等の支援を行っている。現在はコロナ禍のため、電話やLINEによる対話・写真の送付など、工夫して関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性や関係を意識し、テーブルの着座位置に配慮している。食事やお茶の時間には職員が間に入り、会話を促している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院の際等は新型コロナにより面会が制限されている為該当病院担当者に状況を伺う等して対応を行っている。退院後の事等はご家族の相談に乗るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で本人の思いを大切にし、また家族からの情報を参考にし本人本位の生活が出る等に努めている	ほぼ全員の利用者が思いを伝えることができるので、日頃の会話から把握して本人らしい満足感のある暮らしとなるように、家族と連携して支援している。洗濯物たたみは競争して取り組み、裁縫・脳トレ・塗り絵・パズル・ゲームなど、意向や残存機能に配慮しながら個別的な支援に繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の話やご家族・知人の方と話をし情報を得て今までの生活を知り大切にしていたことが続けられるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録の共有、職員間の意見交換、関係者からの情報などで把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族の要望を聞き、主治医、看護師、職員間で意見交換しながら必要な情報を収集して介護計画の作成をしている。	日頃のやりとりの中から把握する利用者の意向と、電話や面会時に把握する家族の意向、照会や聞き取りにより得られる主治医の意見等を基に、6か月毎にカンファレンスを行い、現状に即した介護計画を作成している。職員は申し送り・パソコン記録された業務日誌・支援経過記録等によりケアの実施状況を把握し、利用者の状態変化に応じて計画の見直しや修正等を適切に行い、改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケア記録に日々の様子を記録し、職員間で情報共有を大切にしている。また、ケア記録を介護計画の見直しに役立てている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員間で本人に必要な事を話し合い、事業所・ご家族で支援可能な事を一人一人実現できるよう努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在新型コロナの影響で地域資源の利用は限られている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族が選んだかかりつけ医と連携し本人の健康管理に努めている	ほぼ全員の利用者が法人の母体クリニックを主治医としている。月2回訪問診療を受け、必要な利用者にはリハビリのための通院支援を行ったり、眼科や皮膚科などの専門診療科については家族と連携して受診を支援している。母体クリニックからは毎週、健康管理のために看護師が来訪し、24時間連携体制が構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員の情報は、看護職員や医療連携体制にある看護師を通じて主治医に相談している。必要に応じて受診を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>母体のクリニックや地域の基幹病院との連携体制を構築している。入退院時は関係者、家族と情報交換を行ないながら進めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重要事項説明書の中で重度化と終末期について説明を行い、その後も家族の意思確認を行いながら方針を決めている。終末期については複数の選択肢を提示し、方針の決定を支援している。</p>	<p>重度化及び終末期の対応については、指針を見直して整備しており、入居時に「看取り介護についての同意書」により事前意思として、どこで最期を迎えたいのかを確認している。現在看取りの事例はなく、最終段階で殆どの利用者及び家族が医療機関への入院を選択されている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人研修、避難訓練時に消防、看護師の指導の下、職員は緊急蘇生法や対応を学び急変・事故発生時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害発生時の対応マニュアルを作成している。年2回の防災訓練を実施し、地域の方々の参加を促し、協力体制を築いていたがコロナの為参加が出来ていない。</p>	<p>火災・風水害・地震・津波に対応するマニュアルを整備し、消防署の立ち会い1回を含めて年2回、災害訓練を実施し、日頃から避難経路や連絡網を確認するなど、災害に対する認識を共有している。スプリンクラーや自動通報装置が設置され、持出しやすい玄関の収納箱には防災用品や水を常備して、災害に備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれの性格や個性をふまえた上で、それらを尊重した対応に努めている、排泄や入浴などプライバシーに配慮している。	法人やホームによる接遇マナー研修等を実施して、利用者の人格やプライバシー保護に配慮した声掛けや言葉遣い・対応となるよう、職員間で意識共有を図っている。居室への入室や排泄・入浴では、ドアを閉めたりノックするなど配慮し、利用者の記録物はデジタル化によりパソコン内で管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が気持ちを表明しやすい関係作りに努めており、様々な場面で自己選択を促したり、意見を聞いたり選択を委ねたりしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に職員と一緒に好きなことを楽しんで過ごせる様支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問美容室を利用している。服は家族にお願いして持って来て頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養バランスを考え献立で食事形態を工夫し無理なくゆっくりと食事が摂れるよう工夫している。	利用者の心身の状態・食事形態・嗜好・栄養バランス等に配慮し、法人の管理栄養士が献立を作成している。食材は必要な分だけ発注されて届けられ、ユニット毎に主菜・副菜を担当して調理している。利用者は食材の下ごしらえやお盆拭き等を手伝い、行事食や年2回の弁当・月2回の刺身・手作りおやつ等を楽しみを感じられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立に沿ったメニューを提供している。個々の摂食能力に合わせて食事形態を工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で出来る方には声かけし、出来ない方には毎食後介助にて口腔ケアを行なっている。夕食後は義歯を預り洗浄剤に浸けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別の排泄リズムの把握に努め、定期的なトイレ誘導やパット交換等を行なっている。	利用者毎に身体状況や意向等を十分に把握するように努め、排泄チェック表も活用して、日中は可能な限りトイレでの排泄を支援している。便秘の予防に水分を多めに摂取したり牛乳を飲む等を促し、介護計画にも反映させて排泄の自立を目指している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の記録をもとに個々の排泄パターンを把握し、水分、食事内容を配慮している。状態によっては医師の指示で下剤を使用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者の重度化や入浴回数を均等にするため個々の入浴日を決めているが、その日の気分や体調に応じて変更するなど柔軟に対応している。	週2回、午後からの入浴を基本としているが、排泄時の汚染など必要時には清拭やシャワー等で清潔を保てるように努めている。入浴をためらう利用者もなく、入浴剤を使用したりシャンプー等は共用で、入浴後は利用者毎に保湿剤を使用するなど、個々の希望や必要性に応じて、タイミングよく入浴できる環境となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の明るさや室温、物音など気を配り、体調や気分に応じて個別に対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のファイルを作成し、職員全員で内容を把握している。法人全体で与薬マニュアルを作成し、誤薬防止に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物やおしぼりをたたみ、料理の下ごしらえなど個別に対応している。レクも音楽・塗り絵・縫い物など個別支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今までは家族との外出や外泊、初詣や地域の行事など参加していたが今年には新型コロナウイルス流行によりなにも出来ず	利用者の意欲や自立を保ち、その人らしい暮らしとなるために必要な外出であるが、現在はコロナ禍のためにホーム近隣の散歩や定期受診のみとなっており、外出を自粛している。広いベランダでお茶を飲んだり、季節の花を玄関に活けたり、ホーム内での体操やレクリエーションの充実を図り、利用者の心身のリフレッシュに取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在1名現金所持しているが使用の希望や機会が無い		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話はいつでも出来る様支援しており、タブレットを使用したビデオ通話やLINEも活用している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレには分かりやすいように札を下げている。共有空間は空調管理し物音や光にも配慮している。壁面を毎月季節を感じる飾り付けを行っている	明るく広々としたホールや廊下は開放感があり、干支の貼り絵・絵画・生花・季節ごとの飾り・利用者の作品等が掲示されて、和やかな空間となっている。換気扇を回したり定期的な換気を行うなど、空調・衛生管理等も徹底され、台所からは調理する匂いや音が伝わってきて、生活感や季節感のある雰囲気の中で過ごすことができるように支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者の相性に応じてテーブル席の配置やソファの着座位置を工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時は使い慣れた物や思い出の品などを持参頂き、心地よく過ごせる様にしている。</p>	<p>居室は全てフローリングの腰高窓仕様の洋室であり、エアコン・押入れが備えられ、ベッドはレンタル、寝具は個人用となっている。茶碗類は使い慣れた物を持参し、テレビ・写真・作品・時計・カレンダー等を工夫して飾ったり配置して、居心地よく過ごせるような支援に努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自分の部屋が分かるように名前入りの貼紙をしたり、トイレの場所が分かる様に表示している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない